

聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、地の果てにまで、わたしの証人となります。（使徒1:8）

## 希望は常に、主にあるから

国内教会局長 内山 勝



アルフレッド・アドラーが好んで用いたという、次のような寓話があります。

二匹の蛙がミルクの入った壺に落ちました。一匹は「もう終わりだ」と、溺れ死ぬ覚悟をしました。しかし、もう一匹は諦めず何度も何度も脚をばたつかせると、遂に足が固い地面をとらえました。何が起きたのでしょうか。ミルクがバターに変わっていたのです。

\*

二千年の教会歴史の中で、困難のなかった時代はありません。神さまはいつでも、教会を困難に遭わないように守るのではなく、困難の囀中で、守り、支え、育てて下さいました。ですから、どんな時にも希望を失う必要はありません。そこには、私たちが想像もできない神さまの作戦が備えられているからです。

「その日、エルサレムの教会に対する激しい迫害が起こり、使徒たち以外の者はみな、ユダヤとサマリヤの諸地方に散らされた。：散らされた人たちは、みことばを宣べながら、巡り歩いた。」（使徒八：1〜4）

初代教会が破竹の勢いで成長している最中に、迫害の黒雲がエルサレムを覆いました。救われたばかりの信徒たちは、教会と生活の場を失い、エルサレムから追放されました。頼りにすべき牧者も失いました。

けれども、彼らは、意気消沈せず、散らされて行く先々で、みことばを宣べ伝えました。そのようにして、

「エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります」（使徒一：8）というイエスさまの作戦が成就する方向で、教会は正しく舵を切ることができたのです。

もちろん、渦中にいた信徒たちは、今こそ主のみことばを実現しようと決意して立ち上がったわけではないでしょう。彼らは日々主を見上げて、あの蛙のように、無我夢中で歩き続けたのでしょうか。しかし、主は、火のような試練や困難さえも用いて、彼らの気づかないうちに、主のすばらしいご計画に加わらせていてくださったのです。ハレルヤ！

\*

今、私たちは、確かに大きな困難に直面しています。牧師・信徒の高齢化、牧師の引退、献身者の減少、教会の教財勢の減少など。挙げればきりがありません。しかし、主は私たちの思いを超えて動いておられます。「牧師と信徒の共労」という大テーマは、人材不足という厳しい現実を背景に提案されているとしても、主が今の私たちに強く願っておられる「みこころ」ではないでしょうか。困難がなければ、態勢を変えようとする私たちのために、主があえて困難を用意されたのかもしれないと、私は受け止めています。

「神のみこころは何か、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえるために、心の一新によって」、先ず自身を変えていたかどうかではありませんか。希望は、常に、主にあるのですから。

### 目次

- 希望は常に、主にあるから……内山 勝……1
- 厚生委員会、女性牧師部会、JEF 大阪大会……2
- 災害対策委員会、カナ・フェロシップ……3
- 海外トピックス、国内局コラム、読書のひろば……4
- 北日本ブロック近況と祈りの課題、燭台……5
- 広げた翼……6～8
- 聖宣神学院報……9～11
- 公報、消息……12

厚生委員会からの報告

お祈りとご協力への感謝  
厚生資金献金をもって  
引退牧師をお支えする

厚生委員会 内山忠信

厚生委員会は、6月27日(火)お茶の水本部で開催されました。厚生委員会の主な役割は、引退された先生方の引退後の生活を支援することです。このことが進められるために、厚生部費、謝恩日献金、上・下半期献金、厚生資金献金を行っていただきます。厚生部の会計で、一番大きな柱は「厚生資金献金」です。昨年「厚生資金献金」は2469万円献げられました。前年と比べますと約3%の増加でした。多くのお祈りと共に、尊いご献金をお助けくださいましたことを感謝申し上げます。



2002年、引退牧師数は10名でした。現在の引退牧師総数は65名となりました。15年の間に引退牧師の数は、6倍増となりました。今後を考えますと、これからも増えて行くことは確かです。今後も、引退された先生方の生活の支援を支援なく進められるために、「厚生資金献金」をお助け

「神はみこころのままに……志を立てさせ事を行わせてくださるのです。」(ピリピ二・13) 御名を賛美致します。 尊いお祈りに感謝致します。去る6月26日に今年の部会が5名の委員によって、次の内容で持たれました。

- ①小礼拝 ピリピ書二章13〜16節
- ②報告 オリブの会の活動報告、さふらん会の活動報告が行われました。
- ③確認 教団条例一・二条から女性牧師部について認識を新たにしました。
- ④協議 昨年からの声も挙がり、方向付けられていた、さふらん会とオリブの会の合同リトリートについて協議しました。時期は2020年、必要な準備項目の検討やアンケートなどを重ねることを申し合わせました。
- ⑤祈り 全国の女性牧師部の先生方のために祈りました。

最後に、秋発行の「女性牧師部ニュースレター」について打ち合わせ、祈って終了しました。

最後、秋発行の「女性牧師部ニュースレター」について打ち合わせ、祈って終了しました。

▼総会 役員として太田正信師(日本福音教会連合)が理事長に、島津吉成師(日本ホーリネス教団)、小菅剛師(日本イエス・キリスト教団)が副理事長に選出されました。JEFには聖歌委員会、機関誌

日本福音連盟(JEF)総会・聖会  
ホーリネス系教団の連携  
聖化と宣教を目指し  
具体的な協力体制を

総務局長 北田直人



6月18日夜から20日午前にかけて、日本福音連盟の総会、聖会、セミナーが大阪で行われました。▼聖会 今大会のテーマは「聖化と宣教」(1ペテロ二・9〜10)でした。2回の聖会では川原崎晃師(日本イエス・キリスト教団)が「信仰による再出発」(創世記二二・1〜19)、古川修二師(日本ナザレン教団)が「聖なる望み」(エペソ三・14〜21)と題して、それぞれメッセージを語ってくださいました。ジョン・ウエスレーに学ぶ会が準備委員に加わってくださった関係で、救世軍のバンドによる特別賛美が「会堂全体に響き渡った」(使徒二・2)の印象的でした。

▼次回 来年は山陰で大会が行われます。ぜひご参加ください。

発行委員会、宣教研究委員会が設けられています。新たに神学校協力委員会が設けられました。神学校合同リトリートを来年1月29〜30日にウエスレアン・ホーリネス教団浅草橋教会で行います。



災害対策委員会から……

# 自然災害への備え 緊急対応と支援体制

災害対策委員会 葛田直毅

を通して本部または災害対策委員会にお知らせください(兼任で牧師不在の教会は特によろしくお願ひします)。

先月の11日、定期の委員会から一か月後でしたが、緊急の災害対策委員会が招集されました。

九州の豪雨の災害が報告され、福岡の支部の会員のご家族が避難所におられること、國重師や久留米の吉村師が泥かき等の奉仕に加わっておられることが報告され、

当面の活動費として10万円の緊急支出を決めました。

教団からこれまでクラッシュ・ジャパンに岩上敬人師を派遣していましたが、このたび同師がクラッシュ・ジャパンのディレクター(事務局長)となられました。これまでより少し減額となりますが、引き続きその活動を支援します。

葛田委員長もJEAの援助協力委員となり、超教派での活動に加わることになりました。

IGMが「総合」伝道団としてその意義を深め、実際に働きに加わっていることですが、なお教会として、個人として、災害に備え、また被災された方々を主にあ

る兄弟姉妹として、具体的に支援させて頂いていることを覚え、お祈りください。

各地で行われている教会間の災害ネットワーク作りや、心のケアの講習や災害チャップレン養成など(岩上師が活躍しておられる分野ですが)にも積極的に加わりください。

今回の九州豪雨の災害について、クラッシュ・ジャパンの岩上敬人師からお願ひが来ています。

「クラッシュ・ジャパンでは九州キリスト災害支援センターと連携しながら後方支援を行っています。

クラッシュ・ジャパンでのボランティア受け入れは行っていません。ボランティアに関心のある方は、九州キリスト災害支援センターに直接、お申込みください。」

災害の地域や規模により、支援の方法は変わってきます。献金や物資の支援、ボランティアの参加など、その都度、災害対策委員会やクラッシュ・ジャパンなどにお

問い合わせくださると感謝です。台風季節になります。教会員のお住まいや危険箇所、広域避難場所等の確認、備蓄品のチェック(賞味期限なども含め)をしてお

きましょう。もちろん、天国への備えも怠りなく。



## カナ・フェローシップ報告

### 二回目の集いでした 神さまの導きを求め



千葉教会 池田光重

フリータイムでは、それぞれ「氣になった」方とさらに詳しい会話を通して相手を知り、自分を知ってもらう時間になったようです。

今回の参加者は、東北から関西に至る地域から20名の方々が参加されました。男性6名、女性14名と女性の割合が多かったのですが、前回同様数組のマッチングカップルが誕生しました。

今回参加された方々は「結婚情報サポートシステム」への登録をしていただいております。「結婚情報サポートシステム」の一層の活用により、出会いの時と場が与えられることを願っております。

第3回カナ・フェローシップは11月23日、神戸教会を会場に開催されます。関西地区の先生、信徒の方々によって準備の最中です。多くの方々に参加され、主にある良き出会いがありますよう、祈っております。

講演終了後、男女別に分かれて質疑の時を持ちましたが、語られた内容に関して、より深い理解が得られたとの感想もありました。

第二部は軽食をはさんで「お交わり」の時を持ちました。今回は一対一でお話してできる時間を持ち、全員が一人ひとりとお話してきました。4分間という時間でしたがお互いの対話を通じて初対面同士が少しは知り合うことができたとように見受けられました。



国内教会局から

新約の諸教会再訪  
波瀾曲折の街で伝道を

ピリピ教会の特色といえ  
ば喜びでしょう。  
しかし使徒の働きの記録  
を読みますと、波乱に満ち  
た伝道が繰り返された町  
でもあります。マケドニヤ  
地方の第一都市を訪れて、  
川岸に集まる女性たちの祈



りの集いがことの始まりで  
した。が、その後占いの霊  
に憑かれた女性から霊を追  
い出したことが原因で騒動  
が生じ、結果ローマ当局に  
より使徒たちは投獄されま  
す。  
ところが獄中で大きな地  
震に見舞われ、脱獄の機会  
を得ますが、彼らはむしろ  
平安のうちに讃美を捧げ、  
責任を負って自死を覚悟す

る看守を救いに導き、その  
家族までが救われます。  
この教会に「いつも主に  
あつて喜びなさい」と奨励  
したのは波乱の中での讃美  
の力を、身を以て知った町  
だったからかもしれません。  
この上ない困難のただ中で  
得られる喜びと、そこから  
湧き出る讃美を私たちも味  
わいたいものです。  
(葛田崇志)

■バチカンで能「復活のキリスト」  
披露、国交75周年記念  
バチカン(ローマ教皇庁)のカ  
ンチェレリア宮殿で6月23、24  
日、「勸進能」が宝生流・金剛流

■中国河南省中部の商丘市でプロ  
テスタント教会取り壊し  
中国河南省中部の商丘市で建設  
中のプロテスタント教会が5月5  
日当局により取り壊された。主要  
道路から教会をつなぐ道路の使用  
に通行税を課すとの通告に教会側  
が反発、当局側が教会堂を「違法  
構造」として取り壊しの強硬手段  
に出たものと見られ、取り壊しに  
抵抗した140人の信徒の少なく  
とも40人が逮捕された。この事件  
は最近になってキリスト教系『ア  
ジア・ニューズ』が把握した。取  
り締まりに際し、警察は信徒や教  
会の文書や財産を調べ、携帯電話  
を没収し、贈答箱やロッカーを壊  
し、コンピューター、金銭、宝石  
を押収したという。

の本格的な能楽公演は1984年  
以来。日本とバチカンの国交樹立  
75周年記念行事の一環で、『復活  
のキリスト』は宝生流の唯一のキ  
リスト教演目。公益社団法人・宝  
生会主宰によるもので、在バチカ  
ン日本大使館が共催。『復活のキ



海外トピックス

の合同で行なわれた。23日は能  
『翁』(宝生流)と、能『羽衣』(金  
剛流)が、24日は能『翁』(宝生流)  
と復曲能『復活のキリスト』(宝  
生流)が演じられた。バチカンで

リスト』は1957年4月21日、  
ドイツ人宣教師ヘルマン・ホイ  
ヴェルス神父原作、17代宝生流宗  
家・宝生九郎の演出により、宝生  
能楽堂で初演。63年に、キリスト  
能制作事業として『キリスト文化  
と日本古典芸術祭』での再演が最  
後となったものを復活した「復曲  
能」。主役のキリストを宝生流宗  
家の宝生和英さん(31)が務めた。  
■「アブラハムの墓所」含むヘブ  
ロン旧市街が世界遺産に  
ユネスコ世界遺産委員会は、ユ  
ダヤ教徒およびイスラム教徒の聖  
地とされるヘブロン旧市街を新  
たに世界遺産リストおよび危機遺  
産リストに登録すると発表した。  
7月7日付で各メディアが報道。  
ヘブロンはヨルダン川西岸のパ  
レスチナ自治区にあり、聖書に記  
されているユダヤ教およびイスラ  
ム教、そしてキリスト教の始祖で  
あるアブラハムの墓所があると伝  
えられている。(平瀬聡樹)

読書の

ひろば



わたしたちと宗教改革①

歴史

わたしたちは今どこに立つのか

藤本 満著

日本基督教団出版局刊

出版事業部扱い

定価二、四〇〇円(税別)

3年前、日本キリスト教団出版  
局から声をかけていただきました。  
宗教改革500年を祝うために、  
「わたしたちと宗教改革」と銘打っ  
て5巻の書物を刊行する。宗教改  
革を、①歴史、②聖書、③讃美歌、  
④信仰義認、⑤諸信条と分けて論  
じる、という企画です。  
私は第一巻の担当で、監修の出  
村彰先生(現在、日本の宗教改革  
の第一人者)は、宗教改革をドイ  
ツのルター、スイスのカルヴァン  
で終わらせず、現代の日本にまで  
たどり着くように書いてほしいと  
おっしゃいました。

「私にお話をいただいたというこ  
とは、ドイツ敬虔主義、さらに英  
米の信仰復興運動についても書  
いてほしいということでしょう  
か?」とお尋ねすると、「そうい  
うことです。500年の歴史で、  
日本の教会は英米の信仰復興運動  
に刺激された宣教師によって建て  
られてきた事実を見直し、十六世  
紀ヨーロッパと日本の教会をつな  
ぐ人がほしいのです」と。私にとっ  
ては、荷の重いチャレンジでした  
が、ご指名をいただいた限り、受  
けて立とうと思えました。  
\*

最終的に編集者の方で、シリー  
ズ「わたしたちと宗教改革」第一  
巻「歴史——わたしたちは今ど  
こに立つのか」という題名をつけ、  
本の帯には「宗教改革はルター、  
カルヴァンでは終わらない! 宗  
教改革の信仰が、ヨーロッパ、イ  
ングランドを刷新し、アメリカへ、  
さらに日本へと伝わった」となり  
ました。

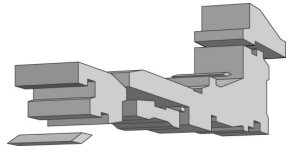
プロテスタント500年の歴史  
でルターやカルヴァンは言うに及  
ばず、イングランドの克蘭マー  
や、ホーリネスの中田重治、バッ  
クストン、天皇制国家主義に抵抗  
した美濃ミッシヨンなども書き込  
みました。

宗教改革400年の日本での講  
演者が新島襄であったこと、ドイ  
ツでは国粹主義的なルター記念で  
あったことを考えると、時代によ  
って新たな光が当てられること  
がわかります。  
(藤本満)





# 国内教会局 スクエア



## 北日本ブロックの 近況と祈りの課題

ブロック・アドバイザー  
川嶋 直行

北日本ブロックの為に祈りを感謝申し上げます。北日本ブロックの諸教会は、高齢化や信仰継承等、様々な課題と取り組みながら信仰の善き戦を戦っています。

### ◆北海道教会

札幌教会 渡辺師はこの冬、吹雪の中、交通事故に遭われ車は大破しましたが、先生方は守られました。教会の高齢の方々が思わぬ健康的戦いに直面しておられます。若い信徒方が成長され、先生方も健康の課題の中、奉仕に励んでおられます。釧路教会 福田師のお子様方が保育園に通われ、お友達が集って教会学校がもたれています。先生方は、信徒の方々が高齢になられる中、良き奉仕をしておられます。恵庭教会 今冬、落雪で風除室の一部が破損しましたが、その修理を契機に凍結故障していたその他の水回り、ガラス窓の破損修理など、建物の補修がされました。復活節の一名の受洗者により集会に恵みが加わっています。8月の「北海道ポプラ聖堂は、王寺の田辺寿雄師、彦根の佐藤道直師を講師にむかえて、フレッシ

ユな聖会を期待しています。釧路 札幌間の距離は上野 盛岡間に相当しますので、高齢の方々の遠路の参加が困難になっています。

### ◆東北教会

東北教会は現在、各教会が春から初夏にかけての特集を越え、それぞれ恵みを頂いて夏の営みに備えています。今年は郡山を会場に8/1-3にかけて東北聖会が行われ、藤本満先生を主講師として、女性部の集会には横山容子先生、教会学校のために川村宏美先生をお迎えし、また青年部の「ユースミッション」の奉仕者として青年たちに教会学校の応援を頂いて、教区の兄弟にとって恵みの機会になるようにと、祈りつつ準備を進めています。また、初の試みとして「全国中高生キャンプの」にキャンには教区の参加教会が協力して送迎車を用意し、仙台を起点に教区的全参加者が共に会場の聖高原までを往復することになっています。個々の教会では、特に新会堂建設に取り組む山形教会が旧会堂の取り壊し工事を始められ、順調なスタートを切っています。

す。また、盛岡教会の國光ひろ子師は7月の下旬に、しこりを除くため、耳鼻科の摘出手術に臨まれ、教区でお祈りに覚えられています。

### ◆北関東教会

宇都宮教会 三浦綾子読書会、戸別チラシ配布、ブログの活用などの働きを継続中。高崎泉教会 今年も伝道サポートシステムを活用し、特伝等を企画、実施。教区を挙げてチラシ配布や集会の応援が続けられています。上田教会 多くのゲストを招いて積極的な働きが続いています。求道者の救いのために祈りください。鴻巣教会 二世世代の教会を担う青年層のため、先生方の健康のためにお祈りください。北本教会 特伝に來られた方々が継続できるように。長年の求道者の救いのためにお祈りください。大宮教会 青年によるコンサートがありました。今後にも用いられるように。英語クラスなどの働きのためにお祈りください。浦和教会 Gospelによる働きが活発に行われています。祝福があるように。蕨教会 新来会者が起こされるように、各集会等が祝福されるようにお祈りください。鶴ヶ島教会 ピアノとメッセージによる音楽特集など継続しています。狭山教会 橋本千尋師のご健康、小坂嘉嗣師(日本宣教会狭山教会)との協力体制のためにお祈りください。越谷教会 地域の方々との音楽集会を実施。来年の30周年に向けた営みのためお祈りください。



## 老いる勇気を

「新郎さまはこちらの控室へどうぞ。」と、式場スタッフに声を掛けられました。「いいえ、私はこの結婚式を司どる牧師です。」と、モーニング姿で少々照れながら返事をしました。神学院を出て間もない頃のことでした。「新郎に間違えられるなんて、僕には貫禄がないんだ。お互い、早く歳をとりたいものだね。」敬愛する同世代で、すでに天に帰られた加藤一男先生と笑い話に興じた40年前が、ついこの前のように思い出されます。■「先生はお若いから、私の気持ちはお分かりじゃないでしょうね。私はもう69歳のオバアちゃんだから、いつ天に召されても『恨みつこなし』ですが、夜半に目がさめると、『死』を考えて不安になる時があるんです。不信仰なんですよがネ……。」と、微笑みながら話してくださいました。86歳で天に召されるまで、真実な信仰生活に励まれた方でした。「誰でも未知の経験に対する不安はあって当然です。不信仰とは違いますよ。」と、精一杯お答えしたのでした。若い頃にホーリネス教会に導かれ、戦時中の教会閉鎖がきつ

かけて次第に信仰から離れたそうです。1974年盛岡教会開拓時に加藤一男先生(当時神学生)の戸別配布で信仰に回復された姉妹でした。■70歳を迎えた私は、その時の姉妹と同じ年齢になりました。改めて「老い」という「未知の経験」が始まりました。そして実感することは、「老いとは失うこと」という事実です。身体的にも次第に衰えていきます。環境的にも立場は変わります。その客観的事実を「謙虚に受け入れ」なければなりません。■これまでの価値観のソフトチェンジを意味することに気づくようになりました。このソフトチェンジは、聖潔の實質を深く探られます。決して自己卑下ではなく、「自分のありのままを、主と共に認める勇氣ある心」です。■有名なヨシユア記一四章11節「私の今の力は、あの時の力と同様……。」と、下記の聖句と矛盾しない信仰と生活は、これからの自分の大きな課題となります。「ですから、私たちは勇氣を失いません。たとい私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。」(第二コリント四章16節) (國光勝美)

巻頭言

宣教は、神のみこころ



世界宣教局 梅田 昇

盛夏の季節を迎え、夏期聖会「とにキャン」、CSキャンプなどが各地で行われます。神学生の方々は夏期伝道に派遣されます。今月、若者を中心に12名の宣教訪問団がフィリピンに派遣されます。



広げた翼

Immanuel His Wings

Department of World Missions

世界宣教局

http://www.immanuel.or.jp/world/

若い方々に宣教の挑戦が与えられたら幸いです。この夏のさまざまな営みに聖霊の働きをお祈りしましょう。世界宣教は神様の永遠のご計画であり、みこころです。アブラハムへの約束 アブラハムがハランの地で主の命令と約束を与えられました。「地上のすべての民族は、あなたによって祝福される」(創世記12章3節)。アブラハムは主の声を聞いた時、75歳で、未知の世界に踏み入れようとしていました。期待と共に大きな不安や戸惑いを覚えたことでしょうか。神様は、アブラハムの子孫であるイエス・キリストを通して、世界の人々が祝されるといふ壮大な

ご計画をお持ちだったのです。アブラハムは、ユダヤ教、イスラム教、そしてクリスチャンに信仰の父として崇められています。アブラハムに勝る救い主キリストの福音は、世界各地で宣べ伝えられています。

ヨエルの預言

ヨエルは紀元前九世紀末に活躍した預言者ですが、聖霊について「わたしはわたしの霊をすべての人に注ぐ」(ヨエル2章28節)と預言しました。当時、聖霊は王、祭司、預言者などの特別な使命のある者に与えられていると考えられていたので、彼の預言は画期的な内容でした。ヨエルは、ペンテコステの日のように聖霊がすべての人々に注がれるか理解できなかったでしょう。

イエス・キリストの福音

主キリストは、特別な使命のためにこの地上に遣わされ、生涯をたどられました。主は、世界の人々のためにご自分のいのちを贖いの代価としてささげられたのです。十字架にかかり、三日後に死からよみがえられた主は、「全世界に出て行って、すべての造られた者に福音を宣べ伝えなさい」と宣教大命令を与えられました。宣教大命令を継承した人々により、宣教活動が今日までなされてきたのです。国内において、宣教地において、困難を乗り越え、福音宣証に励みましよう。



ZAMBIA

ザンビア

根廻恵子\*2017年7月5日

今月は先月に続き、スタッフの出入りが多い月となり、クリニックに残るスタッフが少ない日が多くなりました。今後このようにスタッフが少ない形態で働くことが続きそうです。半年ぶりに以前いたジンバの病院に行ってきました。コンテナに収められた医療器具や資材を取りに行くのが目的です。久しぶりに会う友人達と挨拶を交わし、彼らの変わらない様子を見るのができ感謝でした。その日、帰ってからモノ牧師が、どうしても今日報告したいことがあるということであつた。ザンビアの保健省長がジェンボを訪れたとのこと、モノ牧師が言うには、省長はこのジェンボクリニックが過去に病院という位置から不当な理由でクリニックに格下げされたことをどこからか知り、病院に格上げしたいという思いがあるとのこと。この計画が神様の御心であり、成就されるようお祈りしています。



ZAMBIA

ザンビア

富澤 香\*2017年7月10日

建築のことでは、今月大きな動きがありました。一つは浄化水槽に岩を詰め終え閉じることができたこと、新たに与えられた大工が内装を9割終わらせてくれたこと、電気会社に契約金の支払いを終え、接続工事待たせただけとなったこと。本当にここまで進めてくださった神様の御名を崇めます。宣教車のことでは、国外局から宣教車購入費を送金していただき、入金を確認することができました。現在は知人の助けを借りてどの車にするか探しているところです。

この報告で電気会社の工事が終わっていると報告できると思っていたのですが、残念ながらもまだできていません。電気会社に支払いが済んでからメーター取り付けの工事の予定連絡がなかなか来ないので確認に行きましたら、前の電気技師が準備したケーブルではできないのでそれを取り除くように言われ、なんとか取り除きました。



それでも来週には電気の接続が完了しそうです。

ザンビアは、いま冬の真只中です。私は湯たんぽとホットカイロでしのいでいます。それでも寒さのためか突然熱発を起こしたりして驚いています。マラリヤではなく感謝でした。

帰国準備をしながら、クリニツクの気になる部分の助けや家の垣根の花や風よけの木を植えることなど必要に対応しています。

帰国前に教会地区リーダーのモノ牧師の育ったところへ行きまし。10歳の時、母親の再婚相手の父親に拒否されておばさん家族に引き取られたのですが、本当に温かい人たちで、こういった環境に支えられて今の彼があることに御名を崇めて感謝しました。教会を訪れたのですが、私たちの訪問を喜んで歓迎してくださり素晴らし。アカペラの賛美と太鼓の響きに心打たれました。これまでこの地域に出て行く機会がなかったのですが、田舎なりの素朴なすばらしさを垣間見ることができました。

丈夫な車の必要も感じています。もっと近道もあったのですが、私たちの車ではいけないので(ランドクルーザーのようなオフロード車でない)と難しいと言われ、遠回りをして、距離的には40km程なのですが、2時間近く掛かって着きました。今後の車の購入のためにもお祈り頂けましたら感謝です。帰国において巡回のためにもお祈り頂けましたら感謝です。



常喜は短期集中講義のためにセブ島にあるヴィサヤン・ウエスレアン大学に一週間滞在しました。月曜日からは始まるクラスでしたが前週の金曜日夜に到着し、土曜日の午後から2013年に巨大台風ヨランダによって被災したセブ島北部メデリヤンにあるウエスレアン教会を再訪問しました。セブ市内のバスターミナルからエアコン付きバスに乗る予定でしたが、エアコン付きバスは夜間運行のみとなっていたため、急遽エアコン無しバスでメデリヤンまで4時間掛けて行くこととなりました。この教会は台風によって教会堂や信徒並びに関係者の家屋は被災してしまい、周囲の教会からはもうこのウエスレアン教会の活動は終わりとなって言われていました。しかしながら、教区長バシスタ先生、牧師クリストファー先生、信徒の皆さんが協力し合って翌年2014年には立派な新教会堂を献堂することができました。

この建築は日本のインマヌエル教会やアメリカのウエスレアン教会からの経済的援助によってなされたものです。礼拝の折には常喜を覚えておられる教会の皆様から大変喜ばれました。被災された信徒の方々も教会に通っておられ、礼拝後には5人の女性のためにビーチで洗礼式を執り行うことができました。今回は、パウロ書簡を教え、16人のうち2年生が1人、1年生が1人です。フィリピンでは教育改革が推し進められ、これまで初等から高等教育が10年制でしたが12年制(つまり日本と同じ)になる移行期にあり、そのため1年生、2年生の人数は僅かとなっています。このことは聖書大学の経済に大きな影響を与えていて、各校を支援している諸教区も経済的支援を試みているが、それでも不足している状態にあります。授業が始まるとなかなか手が回らない宣教師館の修繕を夏休み中に進めています。一昨年、台風通過の折にマンゴの木の大きな枝が宣教師館の屋根に倒れ、大きな被害を受けましたが、今月、木の枝伐採によりやくこぎ着けることができました。これも、愛の泉献金によって寄贈されたチェンソーのおかげです。館内に雨漏りを起こしていた部分は修理の必要もあり働き手を捜していたところ、代表の兄弟でもあるノエルさんが引き受けてくださり、修理をすることができました。



「受けるよりは与えるほうが幸いである。」(使徒二〇章35節) 今回の宣教活動はこのみことばから開始しました。6月、7月にかけての1か月間のカンボジア宣教旅行をしめくくるところです。到着後、翌々日から米国の支援隊による伝道者セミナー(出席、チャック先生(84歳)の「教会成長」の講義を傾聴する時が与えられました。上記の聖句が福音の基本であることを説明され、全信者がこの聖句に生きることが信仰の基本なることにも関らず、私達の理解がいかに浅く、むしろ逆の信仰理解に基づいて、恵みを受けるための信仰が伝えられてきていないか、と問いかけられたセミナーで働きがスタートしました。今回の宣教旅行の第一目的は、本部兼伝道者のトレーニング・センターとなる土地と建物のために米国の支援隊の代表3人(チャック師、ポプ師、ディック兄)の方々とのお話が目的でした。紙面

が足りませんので結論から申し上げますと、神様は米国の支援教会の扉を閉ざされたことがクリアーにされました。感謝なことに同席の現地人伝道者方はいささかの失望の気配も見せず、むしろ支援教会の霊的内情、米国ウエスレアン教会本部の状況を知らされて彼らのために執成しと祝福の祈りが捧げられ、心には平安が支配していることを証しされました。霊的にしっかりと成長しておられるのを確認する時となり、困難、試練を通してこられた信仰の勝利者の姿をみることでした。人間の一切の罪、手段が閉ざされ、神様のみに信頼の目が留まったことが確認されて数日後、突然、奇跡的に私たちの願っていた恰好の条件の土地と建物を本部、牧師館、宣教師館として確保するべく導かれました。幾つかの困難も主が全て道を開いてくださいました。夢のような気持ちで建設会社への第一回目の支払いを済ませました。「主は生きています。」(詩篇一八篇46節)。ただ主の御名を崇めつつ、今後の建設の完成に至るまで(一年半、2年)主の御目が留められ、あらゆる妨害から守られますようお祈り頂けましたら幸いです。先日、ふと、不思議な御業だったことを思い巡らしておりましたとき、これらのことは全て背後でのお祈りへの答えであった、と声無き声にハッと気がつかされ、座りなおして背後の祷告者への感謝と共に、これぞ真の宣教の働きであること



を領かされ、真実に祈りをもって支えてくださる諸教会(Ⅱコリント一章10節)の皆様方に主のお報いを心からお祈り致しました。

私自身の健康のためにもお祈り頂いておりますが故に、痺れの残るまま、あちこちに動き回ることも許され主の完治を待ち望みつつ、伏すことも無く主にお仕えでき、恵みに満ちたらわけて頂いております。引き続きの御祈りを宜しくお願い申し上げます。

(右側の写真は米国からの支援者たちと共に。左側は新しい本部の建物のモデルです)

6月に入ってすぐ、勤務に戻りました。多くのスタッフが温かく迎えてくださり感謝です。普段あまり貢献できていないのに近所の宣教師ご家族が「帰ってきてくれて良かった。なんか居てくれるだけで良いんだよ」とありがたいお言葉もかけてくださり、一瞬存在そのものを価値高く見て下さる主のことを思わされました。

今度は全国規模で看護師のストライキが発生、たくさん持たせてくださったアメリカからの献品の整理もままならないほどあれこれ仕事に追われましたが、無事1か月を越えることができ感謝です。

ある週の木曜日に、次週月曜から2週間ずつの予定で手術室実習に他大学の2グループが来ると連絡が入りました。1グループ6人ですが、重なる週があるので、一度に12人をどのように配置するか、時間の限られた中で、短い期間で実習目的に適いつつこちらの予定にも合わせつつ2通りの予定

**KENYA**

**ケニア・テヌウェク**

葛田就子\*2017年7月10日

表をなんとか作成しました。前回「〇日から実習です」と連絡されていたものの、その日は学校からの移動日で到着は夕方、実習で達成すべき目標に合うように急ぎよその日の夕方作り直したり、「〇日まで実習です」と言われていたのにその日がまた移動日で最後の日の予定がつぶれてしまったり、と言いつことがあったので、いろいろと調整が必要でしたが何とか乗りこえることが許されました。

6月の第2日曜日から、昼食の担当にも復帰しました。日本からの食材で毎回一味違った献立が喜ばれ、短期ボランティアの方々からも、食材を贈ってくださった日本の教会の皆様によりしく、と承っております。

今月はたくさん教会から小包が届き感謝です。中身が包帯や空容器など、病院用限定の小包に関しては、箱の外に……

For Mission Hospital,  
Non-commercial value  
(ミッション病院宛、商品価値なし)等と大書していただけると助かります。税金がかからず、最低料金で受け取ることが出来るからです。食材など、私用とみなされるものには書かないでください。宜しくお願い致します。

8月8日の選挙(大統領選挙含め6種類の選挙が行われます)を前に、政治集会から暴動に発展、警察が出勤して催涙ガスを使ったり、騒ぎに便乗した強盗が発生しています。お祈りください。

■会計報告6月分  
宣教献金 一、六〇九、〇一一円  
月平均 二、〇四八、二五〇円

**お祈りの課題**

- ◆ザンビア (根廻)
  - ◆保健省長の計画が成就されるように
  - ◆宣教師館のために(特に電気の接続のために)
  - ◆最善の時、方法、値段で宣教師館が購入できるように
- ◆ザンビア (富澤)
  - ◆宣教師館(片側)の完成のため
  - ◆クリニックの良きチームワークができ、主の愛を分かち合えるように
- ◆帰国準備のため
- ◆ケニア(葛田就子)
  - ◆復帰後の一か月が守られた感謝
  - ◆看護師ストライキ解決のため
  - ◆8月8日予定の大統領選挙及び関連の活動が平和裏に行われるように
- ◆香港(鹿島)
  - ◆入会式がありました。転籍後の歩みの上に導きと祝福を
  - ◆教会員の健康と霊的な成長、特に男性中心の祈禱会のため
  - ◆牧師夫妻の広州・深圳の出入りの安全と働きのため
- ◆カンボジア(葛田緑乃)
  - ◆建設が開始した本部と宣教師館が無事に完成するよう、また最後の支払いが完了するまでに必要の一切が満たされるように
  - ◆現地団体の働きがカンボジア人による自立教会として建て上がるため「与える恵み」に成長する伝道者、信徒となりますように

- ◆ヴァンダイ師のリーダーシップが聖霊の智慧と洞察力と愛による統一へと群を導くことができ、ますように
- ◆フィリピン(豊田)
  - ◆新校長アレックス先生のリーダーシップのため。夏休みに入った学生たちがサタンからの誘惑、攻撃から守られ、新学期(8月)に臨むことができるように
  - ◆8月22〜30日に予定している宣教師訪問(世界宣教師局・教育局主催)の準備とみまもりのため(参加者11名)
  - ◆事故、事件、怪我、過ち、災害から家族が守られますように。子どもたちの学びのため(恭子10月出産予定)
- ◆台湾(平瀬)
  - ◆台中、台南日本語集会、新しく来た方々が定着されるように
  - ◆夏の巡回報告の諸準備と留守となる教会のために。子どもたちの学びの締め括りのため
  - ◆緊迫するアジア情勢の中で、台湾の治安が安定し続けるように
- ◆東京国際教会(葛田康毅・由理)
  - ◆8年間の東京国際教会における華人宣教が守られた感謝
  - ◆今後の東京国際教会の歩みの祝福、特に日本語関係の働きが正しく導かれるように
  - ◆8月から始まる巡回のために、霊肉や生活が整えられるように



# 聖宣神学院報



## Immanuel Bible Training College

### 二度目人生

院長 ● 河村 從彦

「前と同じような二枚の石の板を、切り取れ」

(出エジプト三四・1)

金の子牛礼拝について聞いたモーセは、神さまからいただいた石の板を粉々に砕いてしまいます(三二・19)。しかし神さまは、もう一度同じ「十のこぼ」をくださいました。「前と同じ」だったことに、恵みのすばらしさが表

現されていると思います。ところで、最初の石の板は神さまの手によるものであったのに対し(三一・18)、二度目の石の板は、神さまがモーセに切り出してくる

ように命じられたものでした。神の民が臨在の証しとして運び続け、理想に満ちた石の板ではなく、失敗した後に人間が自分で切り出してきた石の板でした。

何であれ最初は理想を描くものですが、その後の歩みの中で失敗や挫折を体験すると、理想は陰を潜め、不思議なようにそこから希望が生まれてきます。一度恵みを

知ったあとの失敗は、恵みの世界にグッと深められるチャンスになるからです。原因結果論が終わり、イエスさまの温かい恵みの世界に導かれて行きます。

ときにとても大切なことではないかと思えます。神さまの恵みの世界は、ある意味、失敗がないからすばらしいのではありません。いつも従えたからすばらしいのでもありません。エリートだからすばらしいのでもありません。失敗したことがあるからすばらしいのです。罪の情けなさがわかるのです。人の痛みがわかるのです。上から目線や勝ち組論理ではなく、弱い側に立つ素地ができるのです。

これが、イエスさまが描こうとされた神の国の響きなのでしょう。「あとから」にも意味があったように(マタイ二二・30)、モーセの人生はわたしたちに静かに問いかけて来ます。ここまでの歩みは必ずしも理想的でなくても、二度目人生という点で、イエスさまの伝えようとした恵みに生かされているありようだろうか。



シオンの先生方の奉仕団 感謝致します

### 神学エッセー キリストと文化 5つの類型から



宮崎 聖輝

授業でよく取り上げる神学的考察があります。リチャード・ニーバーの『キリストと文化』です。キリストは救いを成し遂げるため受肉され、この世界と関わりうとされました。信仰者も同様です。この世界(文化)と関わりなければなりません。では一体どのような姿勢で関わるのでしょうか。彼によるとそれはおおよそ5つの類型にまとめられるというのです。

1つめは、「文化と対立するキリスト」です。文化を墮落したものととして敵視し、徹底的に遠ざけます。修道院運動、急進的宗教改革、二十世紀初頭の原理主義などがこれにあたります。

2つめは「文化のキリスト」です。これは一つめの対極に位置し、徹底的に文化を肯定して寄り添います。キリスト教を文化に適合させ、できる限りの調和を試みます。リッチェル、ハルナックなど自由主義プロテスタンティズム、フェミニズム神学などがこれにあたります。この姿勢は文化との調和を

計るため、それにそぐわないと聖書の再解釈が試みられて福音の教理が歪められる危うさがあります。3つめは「文化を超えたキリスト」です。キリストの卓越性を主張しながらも文化に一定の評価を与え、最終的には文化との統合を試みます。ニーバーは、トマス・アクイナス、ティリツヒがこれにあたると説明しています。

4つめは「緊張関係に立つキリストと文化」です。ニーバーはルターを例に挙げ、信仰者は常に、霊的統治と世的統治下に置かれ、その狭間で緊張が強いられるといえます。彼によると、この姿勢は、信仰者を傍観させてしまう傾向があると指摘します。ナチ政権を受容した保守的ドイツ教会を思い起こします。

5つめは「文化を革新するキリスト」です。ニーバーはウエスレーをその一人に数え上げています。文化を拒んで孤立するのでなく、併合するのではなく、その中に踏みとどまり、内部から文化を革新させていこうと積極的に働きかける姿勢です。ナチに立ち向かった告白教会、ボンヘッファーもこの範疇でしょう。

ニーバーは最終的な結論を控えましたがおそらく5つめを理想と捉えていたように見受けられます。皆様はどのような姿勢で文化と向き合っていますか。「あなたがたは、世の塩……世界の光です……その光を人々の前で輝かせなさい。」(マタイ五・13・16)

◆前期の授業を振り返って

尊敬できる仲間

聴講生 秋田郁美

「兄弟愛をもって心から互いに愛し合い、尊敬をもって互いに人を自分よりまさっていると思いなさい。」(ローマ二二章10節)

早いものでもう、前期の授業が終わろうとしています。私は今学期、諸事情のために2つの授業しか取りませんでした。そのうちの1つが「説教演習」でした。この授業では、神学生全員が前期のクラスで2度ずつ、皆の前で説教をする機会が与えられました。そして、その説教について良かった点、気づきを与えられた点などを発言し合うのです。素晴らしい授業でした。

このクラスは決して他の人の説教を批判するのではなく、良い点だけを伝えるという方針でしたが、確かにそれぞれの説教はどれも素晴らしい、良いところがたくさん見つかりました。何よりも、それぞれの説教にその人の個性が出ていて、独特の世界観があることを感じました。神様はその言葉を伝える時に、語る人それぞれの人格をお用いになることが改めてわかりました。

神学生の年齢やバックグラウンドは様々です。人生経験による重みが説教に生かされることもありませんが、若い人でもその視点に気づかされるが多く、皆さんの素晴らしい説教を聞いて、心から尊敬できると思いました。このように神学院には尊敬できる先生、そして仲間がいることを感謝します。夏を越えて、また一つ成長した皆さんと一緒に学ぶことを楽しみにしています。

●神学生最後の夏期実習

「愛」を知る実習に

正規コース 金成星美

主の御名を心から賛美します。夏の季節に入り、この夏に働かれる神さまへの期待が膨らみます。今年の夏が私にとって、神学生としては最後の夏期実習となります。いつもの教会実習とは違う特別な時間を過ごすことのできる夏。今年は前期・桜ヶ丘教会、後期・別府教会に迎えていただきます。夏期実習中は小学生や中高生のキャンプがあり、また毎日を教会で過ごします。今年の夏の全てを通して神さまがどんな恵みと新しいことを用意してくださっているのか楽しみで、こどものようにドキドキしています。

「愛は寛容」であり、愛は親切です。また人をねたみません。愛は傲慢せず、高慢になりません。礼儀に反することをせず、自分の利益を求めず、怒らず、人のした悪を思わず、不正を喜ばずに真理を喜びます。すべてをがまんし、すべてを信じ、すべてを期待し、すべてを耐え忍びます。愛は決して耐えることがありません。」(第一コリント一三章4〜8節)

つくづく自分という人間は愛のない者だなと思ひ知らされます。このみことばは私の今年度の標語聖句です。標語聖句というものはそのみことばどおりになるように自分で努力するための「目標」ではなく、神さまがそのみことばのようにになると「約束」してくださっているものなのですよ、とある先生方に教えていただきました。完



宮縄ボランティアのご奉仕 感謝致します

壁な愛をもつことは私の努力では無理です。愛なる神さまを見上げ、神さまの底知れない愛をたつぷりと受け取ること。それが大事。夏期実習のあらゆる場面で、あそこが神さまの深い深い愛なのだ。あとしみじみと受け取っていただけらと思ひます。また、神さまの愛を豊かに受け取って愛ある存在へ、人を愛する存在へと造りかえていただきたいと思います。

●インターン実習の中で

主の用なり

正規コース 松尾信子

神学院4年目の学びに入り、インターン実習で白鳥教会に遣わして頂いています。いつもお祈りに覚えて頂き、ありがとうございます。イエスさまが、ろばの子を、「主の用なり」と使って下さったように、乏しい者にも、主の用の一端を与えて下さっていることを感謝して頂いています。自分の立ち位置を弁えつつ、どのように奉仕させて頂くかを教えられ、また、考え祈っているところでは、御言葉の奉仕、伝道の奉仕、牧会の奉仕など、多方面の奉仕があります。やるかやらないかの問題にあたり、怠慢

を示されることも多いですが、自分の思いでなく、主の御心を求めて、怠けずにしていくことを教えられています。また、「主の用なり」と言われているのに、そこに間に合っていないことが多々ありますが、主の御助けを頂き、また、そもそも、主が用いて下さったのは、「ろばの子」であることに立ち返って、ご奉仕に当たらせて頂いています。

教会では、野田秀先生著書の「牧師の責任 信徒の責任」という本をご一緒に読ませて頂いています。先生は、ご自分のご経験をまじえながら、牧師の責任について、「方向づける責任」「意味づける責任」「結びつける責任」「力づける責任」とまとめてくださっています。そして、先生が警戒として書かれていたことは、あくまでそれを、職業的な感覚と義務感ではいけないということ、深く教えられています。

教会の愛する先生方、兄弟姉妹とともに、それぞれに与えられた責任(主の用)を、主の恵みを頂きながら、果たしていきたいと願っています。

「もし、『なぜ、ほどこのか』と尋ねる人があったら、こう言いなさい。「主がお入用なのです。」(ルカの福音書一九章31節)







# 公報

## 本部通達

北海道教区女性大会  
 《8月に開催される各地域聖会開催情報》(開催日程順)

### ◆東北聖会

1日(火)～3日(木)  
 講師・藤本満師

会場・ホテルバーデン(郡山)

\*教報7月号の最終面で東北聖会の日程が間違っておりました。

### ◆四国聖会

1日(火)～3日(木)

講師・朝比奈悦也師・岩上祝仁師

会場・セントラルホテル鴨島

◆ホプラ聖会(北海道教区)

10日(木)～11日(金)

講師・田辺寿雄師・佐藤道直師

会場・札幌教会

◆林間聖会

10日(木)～11日(金)

講師・藤本満師

会場・OCCビル

◆九州聖会

15日(火)～17日(木)

講師・藤本満師

会場・阿蘇の司ピラパークホテル

▽引退、休養等の意向のある牧師は、8月末までにブロックアドバイザーにお申し出ください。

▽7月2日より、土屋繁牧師(聖書教会連盟)を金沢教会の協力牧師として迎えました。主任牧師である高桑春子師のもとで、伝道・牧会に専心しておられます。三宅喜美子師のこれまでの尊いご労に感謝します。同教会のために引き続きお祈りください。

### ■国内教会局

「その日には、エルサレムから湧き水が流れ出て、その半分は東の海に、他の半分は西の海に流れ、夏にも冬にも、それは流れる。主は地のすべての王となられる。その日には、主はただひとり、御名もただ一つとなる。」

### ■本部

夏営みに祝福が注がれ、参加する方々の心が主に明け渡されて、そこから恵みの潤いが四方に流れ出る契機となりますように。

### ■国内教会局

夏期休業期間で、本部や出版事業部関係の業務はお休みとなります。▽月報送付の際、表書きに「月報在中」と記してくださいと事務処理を円滑にすることが出来ます。ご協力をお願いいたします。

### ■世界宣教局

▽葛田康毅、由理宣教師夫妻は、調整期間を経て、今月から来年の年会まで巡回報告に当たります。IGMとしては初めての形態での宣教の理解を深めるためにもぜひ先生方をお招きください。

▽富澤香宣教師は、今月21日、ザンビアから帰国の予定です。9月半ばから来年の年会まで巡回報告に当たります。巡回の申し込みは、神栖教会の葛田敬子師まで。

▽平瀬義樹・光世宣教師ご家族は今月半ばまで、約一か月の巡回報告を終え、再び台湾に赴任します。なお留守中の台中教会、台南の日本語集会の方々の見守りをお祈りください。

▽今月22日～30日には田辺寿雄師を団長とする宣教訪問団12名がフイリピンに渡航します。旅路、治安の安全と意義深い訪問となりますようにお祈りください。

▽葛田緑乃宣教師が6月から一か月奉仕されたカンボジアのクメール・コミュニティ教会(KCC)では、すべての必要が与えられて、本部の土地と施設、IGM宣教師館を購入することになりました。無事に建物の完成をみる事ができますように、若い伝道者たちがさらに福音宣教に励むことができますようにお祈りください。

《IWF関係》

▽宣教師たちは、教会の招きに応じての説教やバイブルクラスに加え、とにキャン、聖会などにも積極的に参加し活動しています。

▽帰国報告中のアンドレア宣教師、ブランドン久芳宣教師のためにお祈りください。

### ■教育局

◆第10回全国中高生とにキャン  
 日程：8月8日(火)～11日(金)  
 会場：聖山高原キャンプ場  
 講師：大島重徳師(KGK主事)  
 テーマ：「変わりたい Revolution」

◆青年部  
 1日(火)～2日(水)  
 青年部ユースミッション―北関東青年部による東北聖会でのCS集会応援

◆聖宣神学院  
 夏期実習の任地は次の通りです。  
 前期7月31日(月)～8月27日(日)、後期8月28日(月)～9月24日(日)の8週間。カッコ内は前期・後期任地。受け入れ教会に感謝致します。

伊藤安司(深川・大宮)  
 竹内俊之(高津・中目黒)  
 峯尾仰生(名古屋・豊田)  
 金成星美(桜ヶ丘・別府)  
 大谷のぞみ(別府・上田)  
 高木暁子(聖宣神学院・船橋)

▽神学院祈り会は8月8日(火)午後6時から、奨励は田中進先生です。

▽秋の入学審査は9月4日(月)、願書提出期限は8月21日(月)です。志願者の方は、お間違いないように願書を提出してください。

▽オープン・キャンパスのご案内  
 10月20日(金)午後から21日(土)昼まで。案内チラシをご覧ください。部分参加も歓迎です。教会申し

込締切は9月17日(日)です。  
 ▽信徒土曜講座の秋学期はこれからでも申込が可能です。

■出版事業部  
 ▽9月8日に出版事業部会が行われますので、出版に関するご意見、ご要望がありましたら、書面にてお知らせください。

# 消息報告



▼暑さの厳しい折、ご高齢の先生方の健康が支えられるようお祈りください。闘病中の先生方のためにも、引き続きお祈りください。

・彦根教会住所  
 誤 522・0087  
 彦根市芹橋2・3・26

正 522・0043  
 彦根市小泉町93・1

・下関教会牧師名  
 広瀬いずみ・久芳いずみ  
 ・今治教会牧師名  
 清田智子・尾澤拓也、潤

■次期eラーニングの案内  
 山崎ランサム和彦先生「ルカが語る福音の物語―ルカ福音書を読む」  
 11月1日(水)前期14週間。後期11月10日(水)から4週間。9月4日(月)申込受付開始

(Webフォーム) <http://grace-online.jp/> 詳しくは、8月末に教会へ送られる案内チラシで。

教報PDFパスワード113374

新生宣教団 定価 一部〇〇円(税込)  
 郵便振替 001107133609

発行人 藤本 満 編集者 北田直人  
 発行所 東京都千代田区神田駿河台一〇〇Cビル イムマヌエル綜合伝道団本部

印刷所 埼玉県比企郡鳩山町熊井七〇〇Cビル

〒100-0001 東京都千代田区千代田一〇〇Cビル

〒100-0001 東京都千代田区千代田一〇〇Cビル

〒100-0001 東京都千代田区千代田一〇〇Cビル

〒100-0001 東京都千代田区千代田一〇〇Cビル

〒100-0001 東京都千代田区千代田一〇〇Cビル

〒100-0001 東京都千代田区千代田一〇〇Cビル

〒100-0001 東京都千代田区千代田一〇〇Cビル

〒100-0001 東京都千代田区千代田一〇〇Cビル

〒100-0001 東京都千代田区千代田一〇〇Cビル